

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国学力・学習状況調査で第3学年生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国語】

- 話合いの中の発言について、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができている。
- 話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができている。
- 行書の特徴を理解することができている。
- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。

【数学】

- 式の計算や方程式を解くことなど、基本的な計算力が身に付いている。
- 簡単な場合について、確率を求めることができている。
- 基本的な図形の移動について、理解することができている。
- 筋道を立てて考え証明することや、事象を数学的に解釈し問題解決の方法を数学的に説明すること、事象を観察し問題解決の過程や結果を振り返り新たな性質を見いだすことに課題がある。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 人の役に立つ人間になりたいという思いが強い。
- 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。
- 家で新聞や小説を読む習慣が身に付いていない。
- 1日(平日)当たり2時間以上、携帯電話でSNSや動画を視聴する人の割合が、福岡県や全国の割合よりも大きい。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・数学科における毎日の基本問題プリントの実施
 - ・国語科における毎週の新聞(コラム)の読み取り
 - ・全校での授業改善の取組(個別最適化と協働的活動の位置付け)
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・全校での授業改善の取組(個別最適化と協働的活動の位置付け)
 - ・数学科と国語科の取組の継続と数学科の発展的問題の実施

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・係活動等での話合い活動の充実
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・携帯電話の長時間利用と健康との関係についての学習を実施